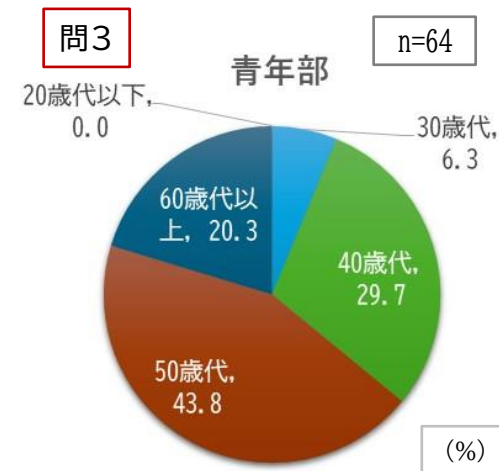
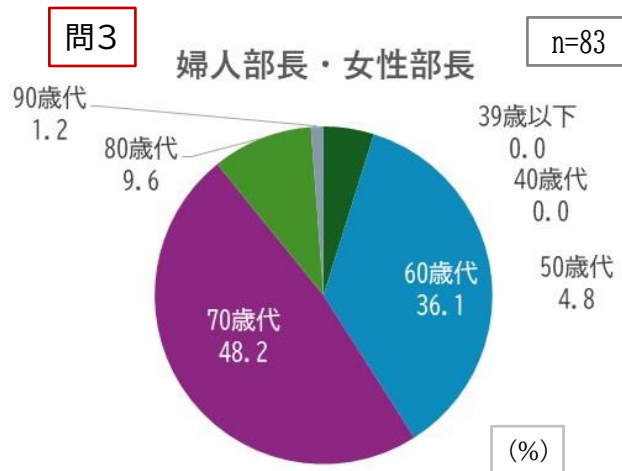
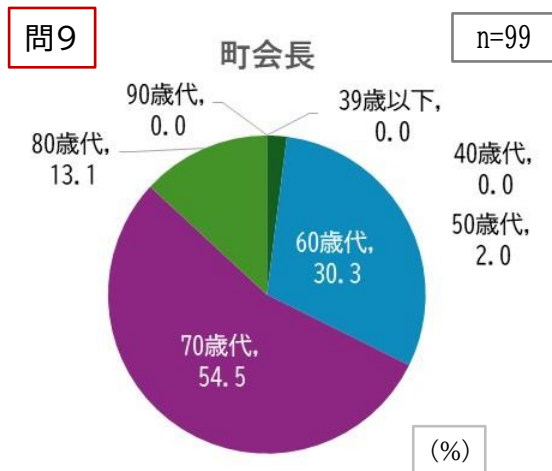


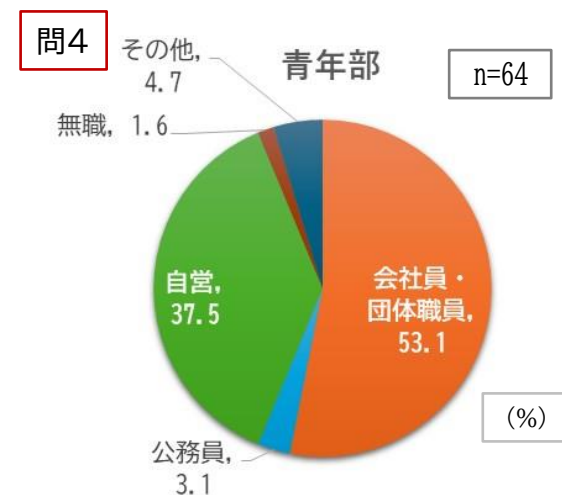
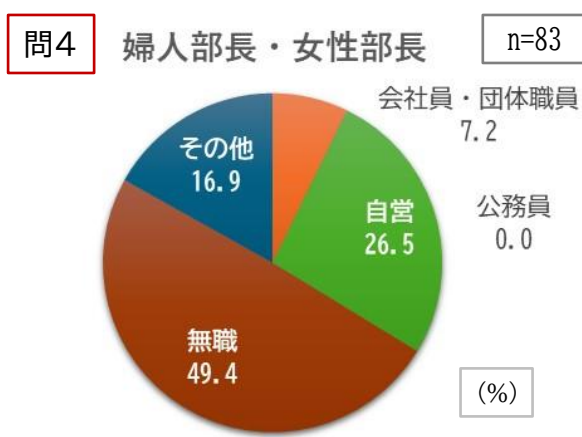
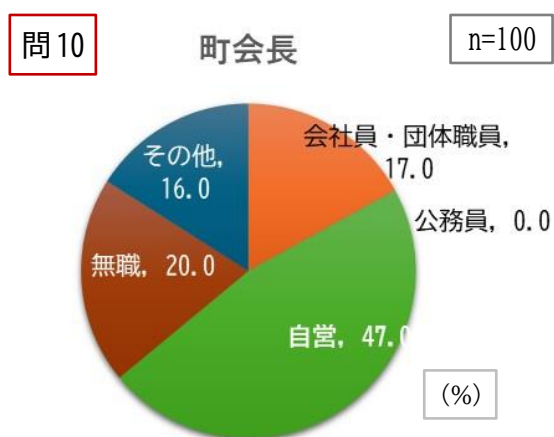
1 会長、婦人・女性部長、青年部長の年代について

町会長および婦人・女性部長は60歳代と70歳代が8割半ば、青年部は40歳代と50歳代が7割強となっている。



2 町会の役員等の職業など

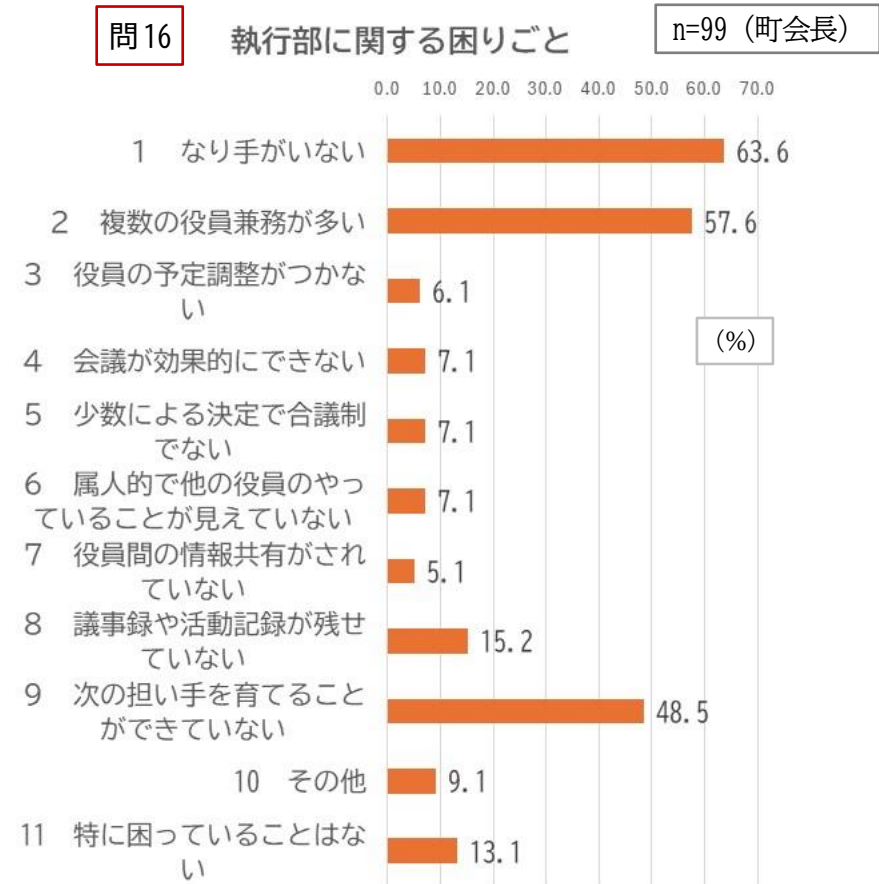
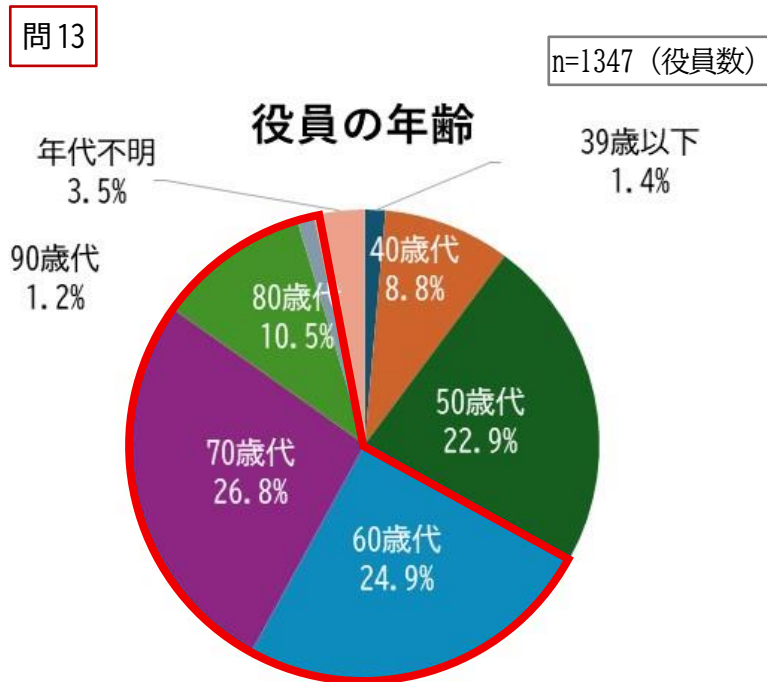
町会長は会社等に勤めながらまたは自営や現在仕事をなさっていない方に、婦人・女性部長は自営または現在仕事をなさっていない方に、青年部は会社勤めや自営の方に、主に運営が支えられている。



3 役員の年齢分布・執行部に関する困りごと

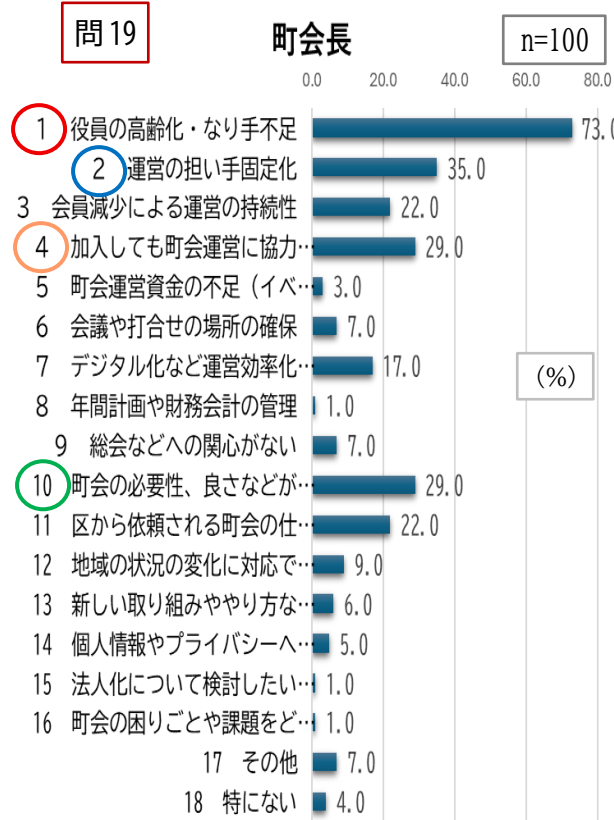
町会長に町会役員の年齢構成を尋ねたところ、町会役員の60歳代以上が6割半ばとなっており、高齢化が進行していることが伺える。

また、「執行部に関する困りごと」では『役員のなり手がいない』、『複数の役員兼務が多い』、『次の担い手を育てることができない』ことが多くの町会で生じており、若年層の加入が進まないことによる町会組織の継承が進められない状況が伺える。

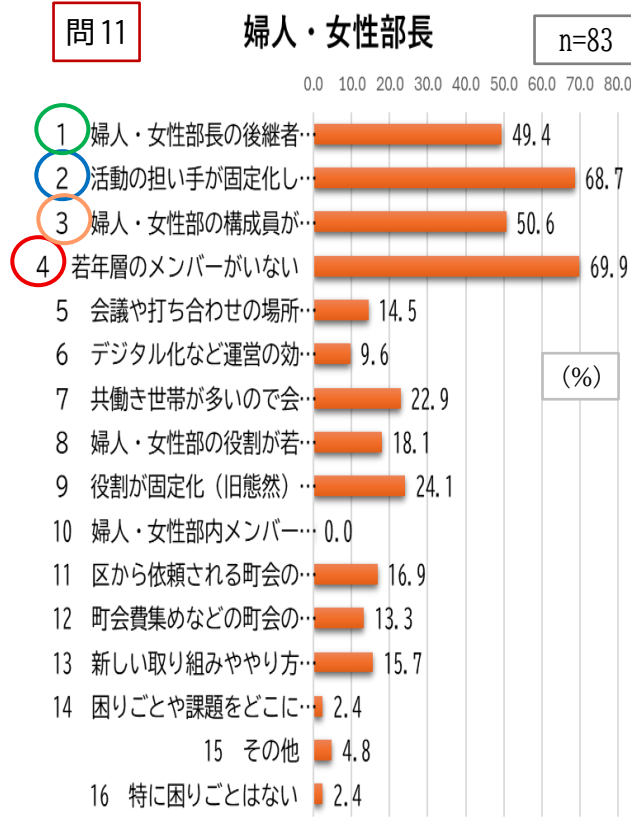


4 運営上の課題や困りごと

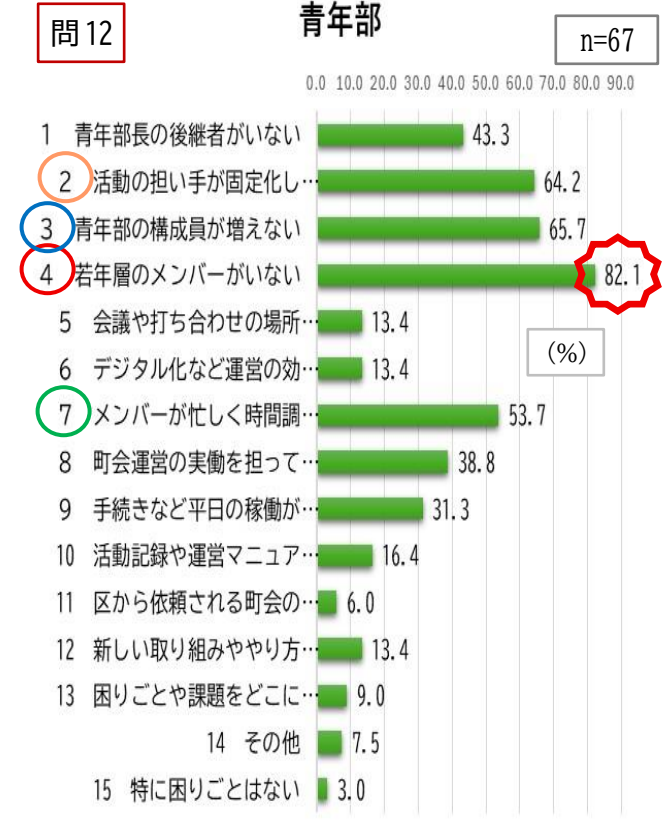
町会や婦人・女性部、青年部等の運営上の困りごとについて尋ねたところ、役員のなり手（後継者）不足、構成員が増えず・若年層が少ないことから担い手の固定化につながっていることが大きな課題・困りごとであることが見てとれる。また、町会長においては『町会の必要性、良さなどが知られていない』といった町会を取り巻くイメージに関することが、青年部においては『メンバーが忙しく、時間調整や活動時間の確保が難しい』といった町会活動の実働を担っている世代としての悩み・困りごとが伺える。



1 役員の高齢化・なり手不足	73.0%
2 運営の担い手の固定化	35.0%
4 加入しても町会運営に協力する人が少ない	29.0%
10 町会の必要性、良さなどが知られていない	29.0%



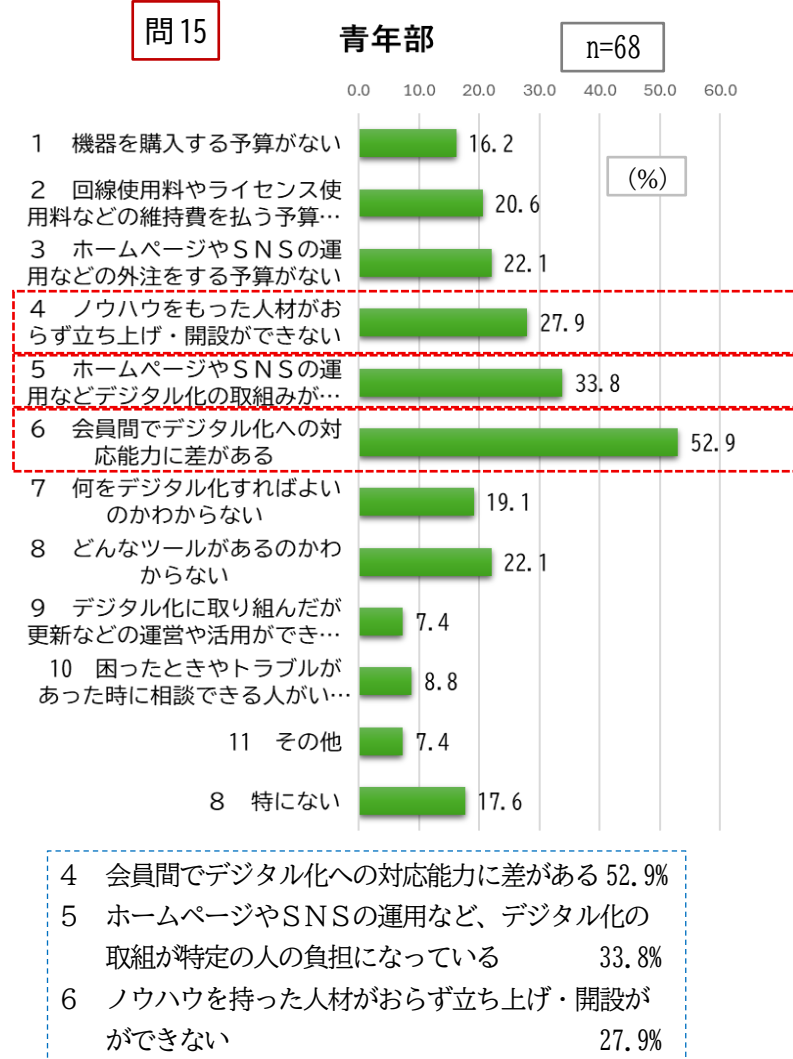
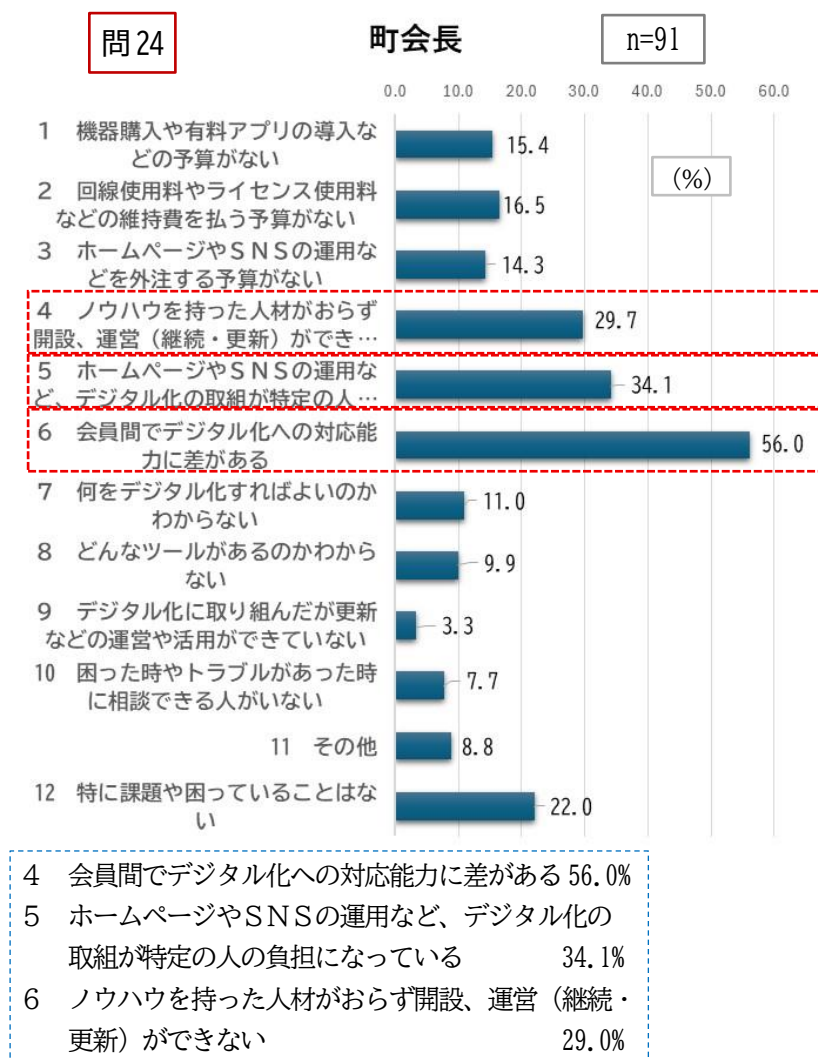
4 若年層のメンバーが少ない	69.9%
2 活動の担い手が固定化している	68.7%
3 婦人部・女性部の構成員が増えない	50.6%
1 婦人部長・女性部長の後継者がいない	49.4%



4 若年層のメンバーが少ない	82.1%
3 青年部の構成員が増えない	65.7%
2 活動の担い手が固定化している	64.2%
7 メンバーが忙しく、時間調整や活動時間の確保が難しい	53.7%

5 町会運営のデジタル化についての課題や困りごと（〇はいくつでも）

町会長および青年部の方に「町会運営のデジタル化についての課題や困りごと」について尋ねたところ、いずれも上位3つが『会員間でデジタル化への対応能力に差がある』こと、『ホームページやSNSの運用などが特定の人の負担になっている』こと、『ノウハウを持った人材がおらず、立ち上げ・開設・運営ができない』ことを挙げている。



6 情報共有手段について (〇はいくつでも)

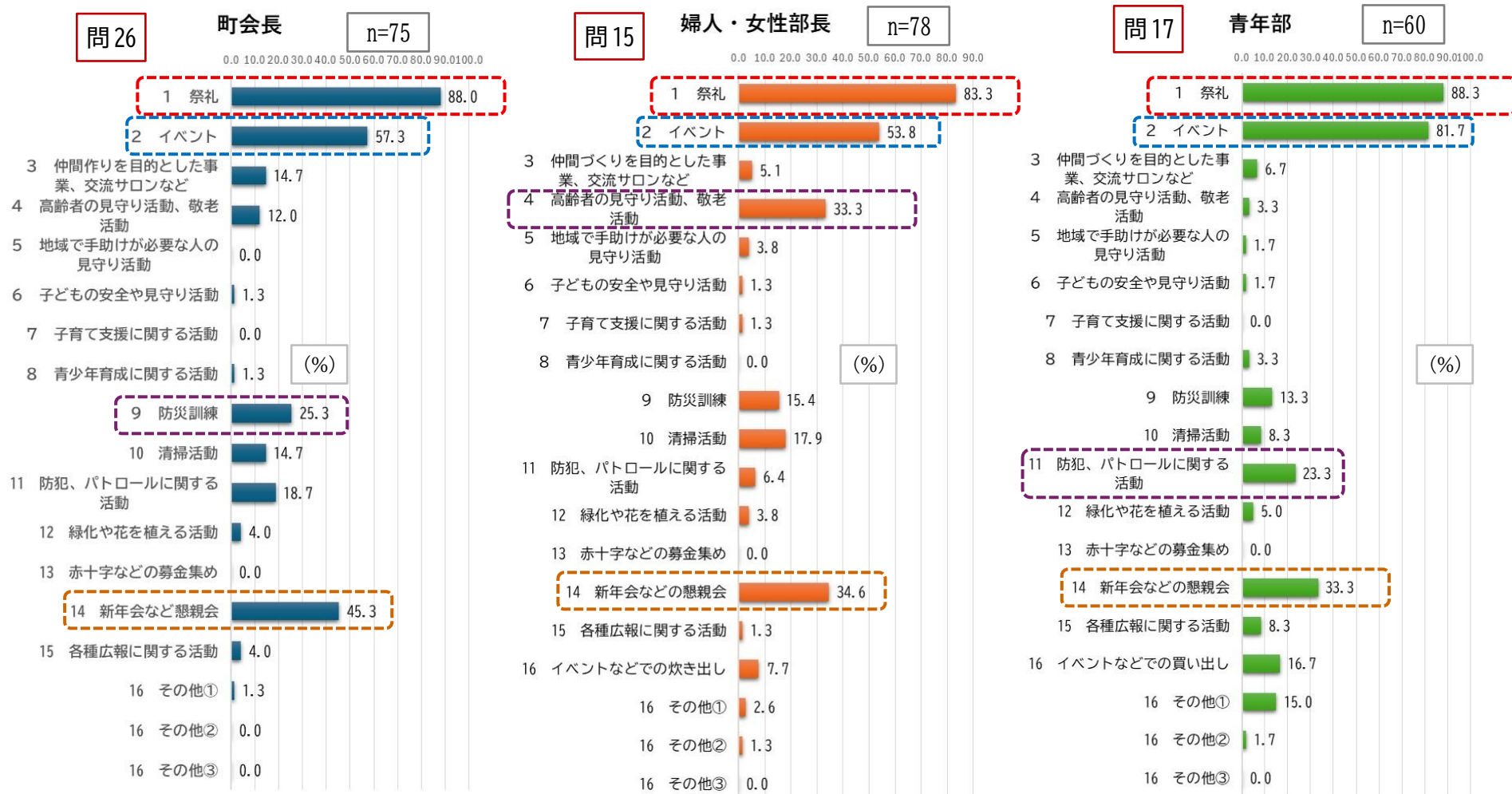
町会長に「会員へのお知らせや情報共有」を、婦人・女性部長と青年部の方に「メンバーへのお知らせや情報共有」を それぞれどのように行っているか尋ねたところ、婦人・女性部長の8割以上・青年部の方では97%が、『LINE、SNS』をツール・手段としている。



7 町会活動で力を入れているもの（〇は3つまで）

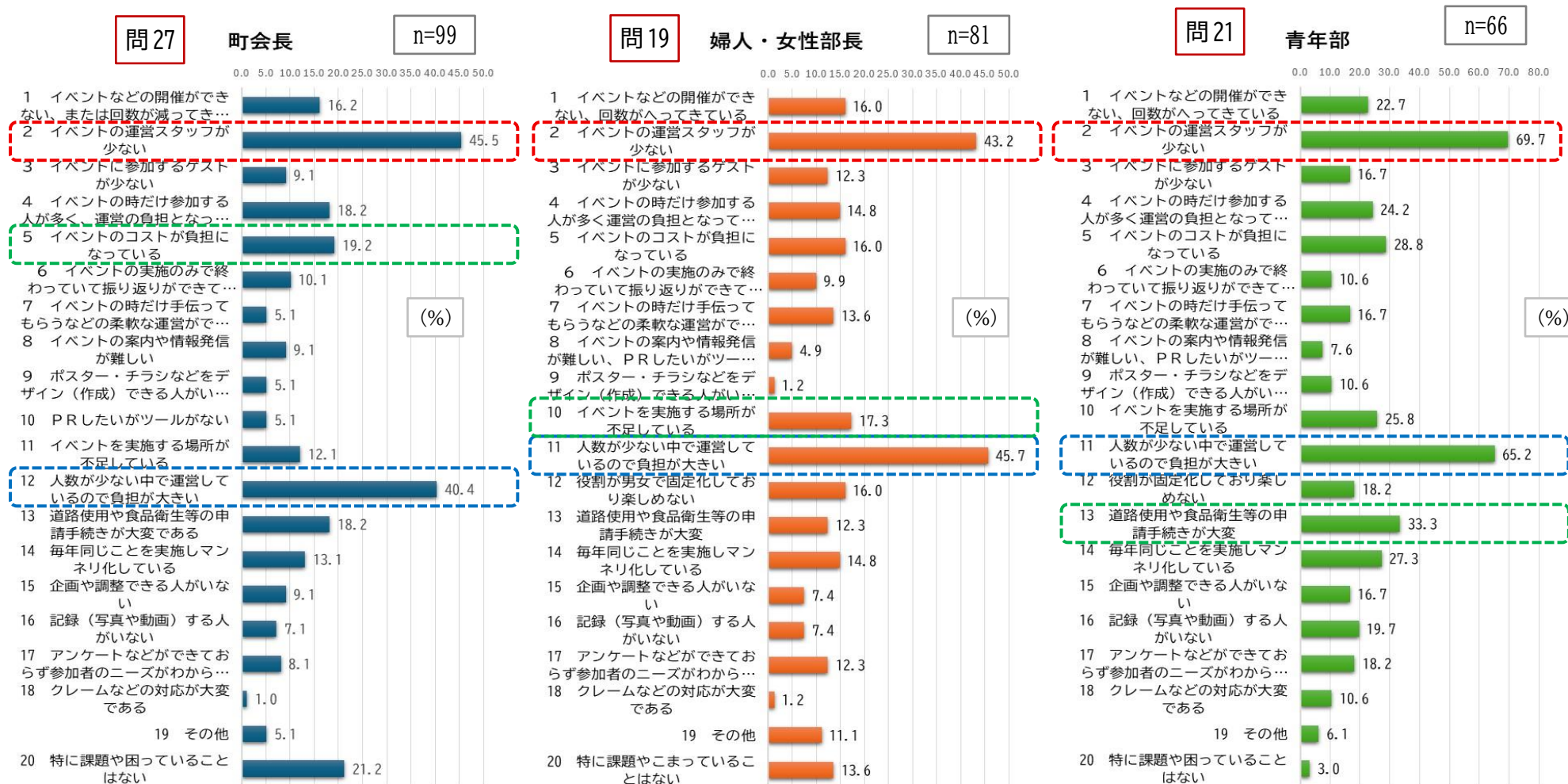
町会活動で力を入れているものを尋ねたところ、町会長、婦人・女性部長、青年部の方のいずれも『祭礼』、『イベント』、次いで『新年会などの懇親会』が多い。

また、4番目に多いものとして、町会長は『防災訓練』、婦人・女性部長は『高齢者の見守り活動・敬老活動』、青年部の方は『防犯・パトロールに関する活動』となっており、それぞれが担っている役割に対する意識が表れていることが見受けられる。



8 町会のイベント・活動での課題や困りごと（〇はいくつでも）

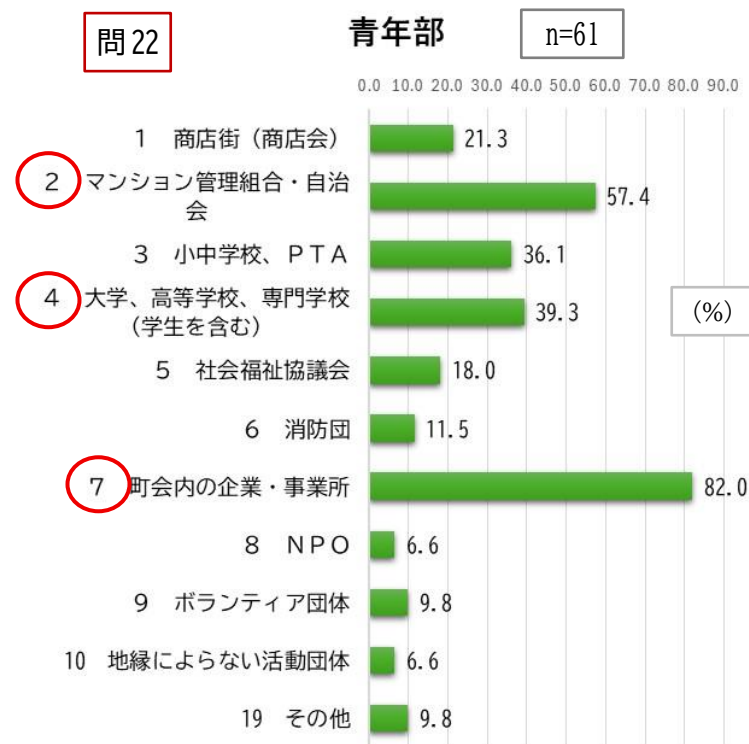
町会のイベント・活動での課題や困りごとを尋ねたところ、町会長、婦人・女性部長、青年部の方のいずれも『イベントの運営スタッフが少ない』、『人数が少ない中で運営しているので負担が大きい』ことが挙げられている。また、3番目に多いものとして、町会長は『イベントのコストが負担になっている』ことが、婦人・女性部長は『イベントを実施する場所が不足している』ことが、青年部の方は『道路使用や食品衛生等の申請手続きが大変』なことが挙げられている。



9 今後、連携を深めたい団体など（〇はいくつでも）

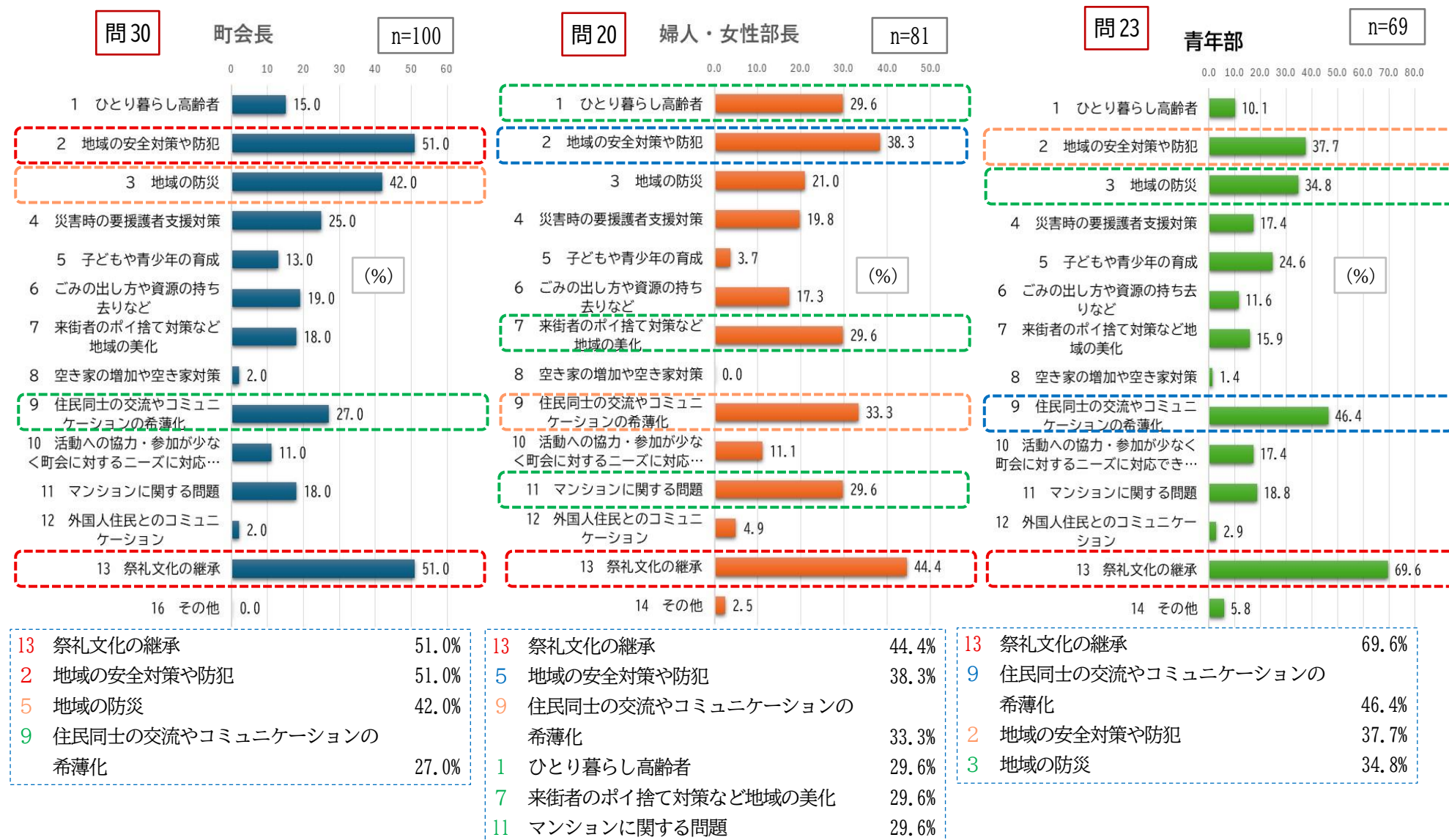
町会長に「今後、特に協力・協働関係を密にしたい団体」、青年部の方に「イベント企画・運営、今後の活動で連携深めたい団体」を尋ねたところ、『町会内の企業・事業所』と『マンション管理組合・自治会』、『大学、高等学校、専門学校』が多かった。

P. 5で「力を入れていること」の『祭礼』や『イベント』、『防犯・防災』といった、地域コミュニティの形成や維持、地域の安全安心につながる活動に必要な連携対象であるとの意識の表れであることが伺える。



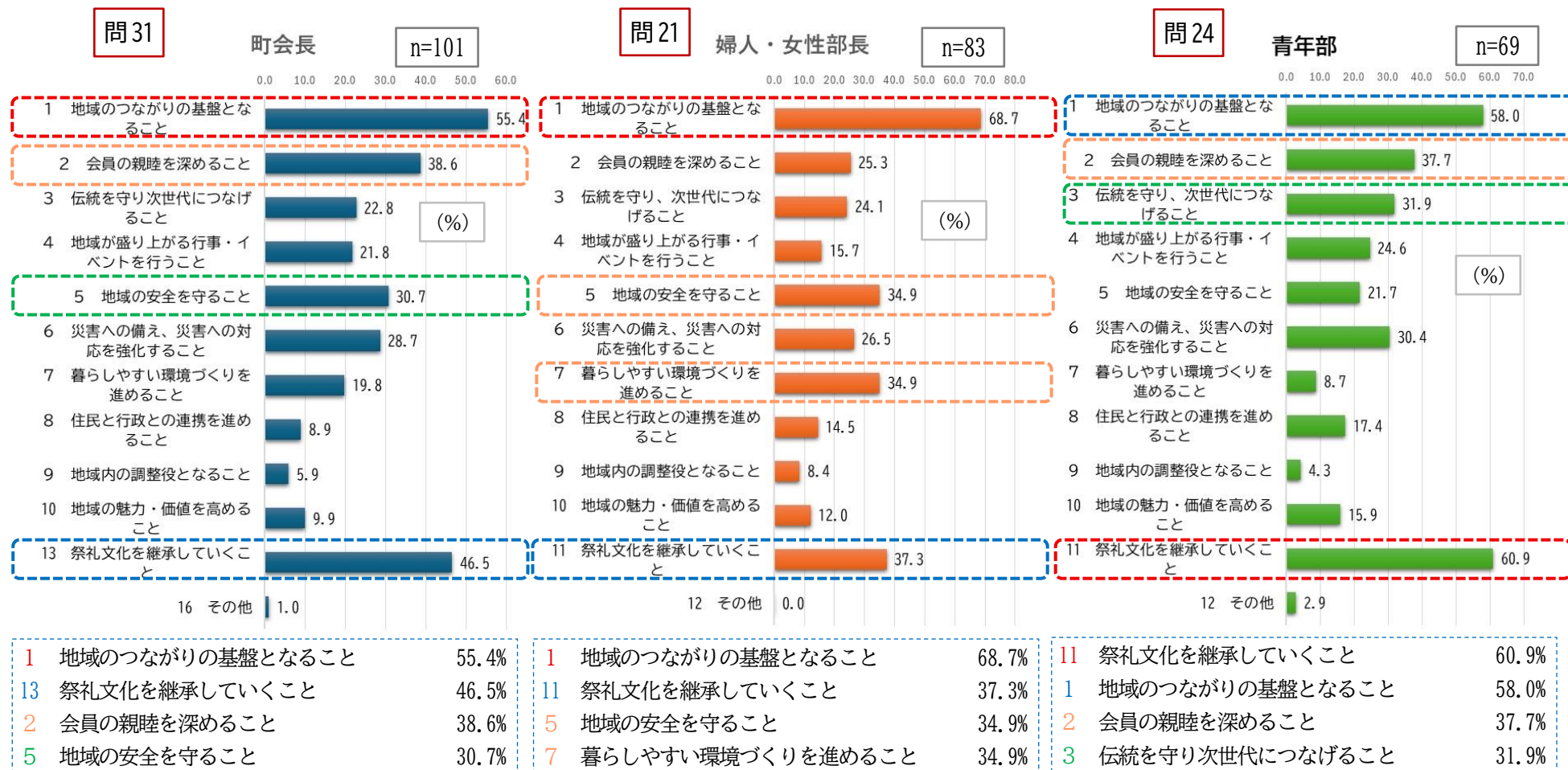
10 特に重要な地域課題（〇は3つまで）

「特に重要な地域課題」について尋ねたところ、いずれも『祭礼文化の継承』が最も高い。また、『地域の安全対策や防犯』、『地域の防災』、『住民同士の交流やコミュニケーションの希薄化』が共通した重要課題との意識であることが伺える



11 町会の役割、存在意義として大切なこと（〇は3つまで）

「町会の役割、存在意義として大切なこと」を尋ねたところ、いずれも『地域のつながりの基盤となること』と『祭礼文化を継承していくこと』を挙げている。3番目に多いものとして、町会長と青年部の方が『会員の親睦を深める』こと、婦人・女性部長が『地域の安全を守る』こと、『暮らしやすい環境づくりを進める』こととなっている。『地域の安全を守ること』や『災害への備え、災害への対応を強化すること』も比較的高い割合を示し、町会の果たす役割として、地域コミュニティの基盤（核）としての位置づけや災害時の自助・共助に備えることへの意識の高さが伺える。

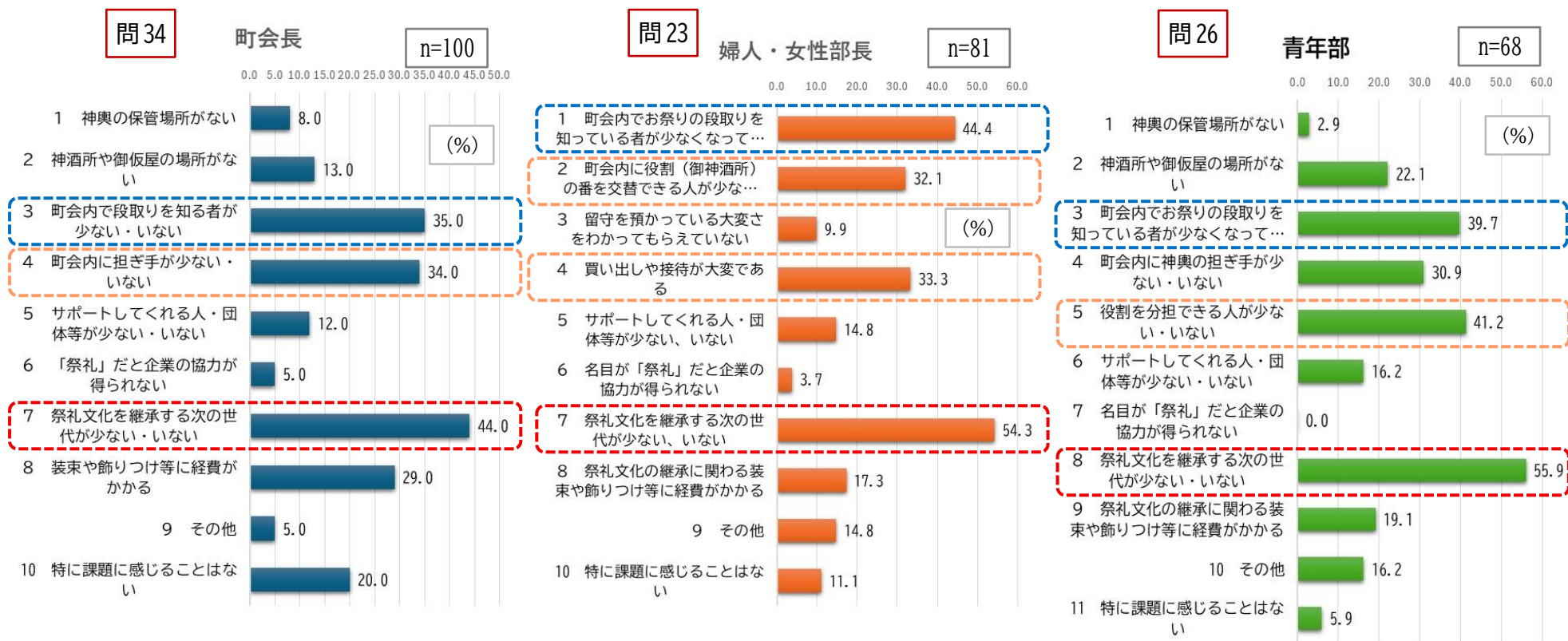


12 祭礼文化の継承の課題について (〇は3つまで)

「祭礼文化を継承していくにあたり課題となっていること」について尋ねたところ、いずれも『祭礼文化を継承する次の世代が少ない・いない』ことが最も多く、次に『町会内で段取りを知る者が少ない・いない』が挙げられている。

また、3番目に多いものとして、町会長は『担ぎ手が少ない・いない』ことが、婦人・女性部長は『買い出しや接待が大変である』ことが、また婦人・女性部長と青年部の方では『役割の番を交替できる人、役割分担できる人が少ない・いない』ことを共通して挙げている。

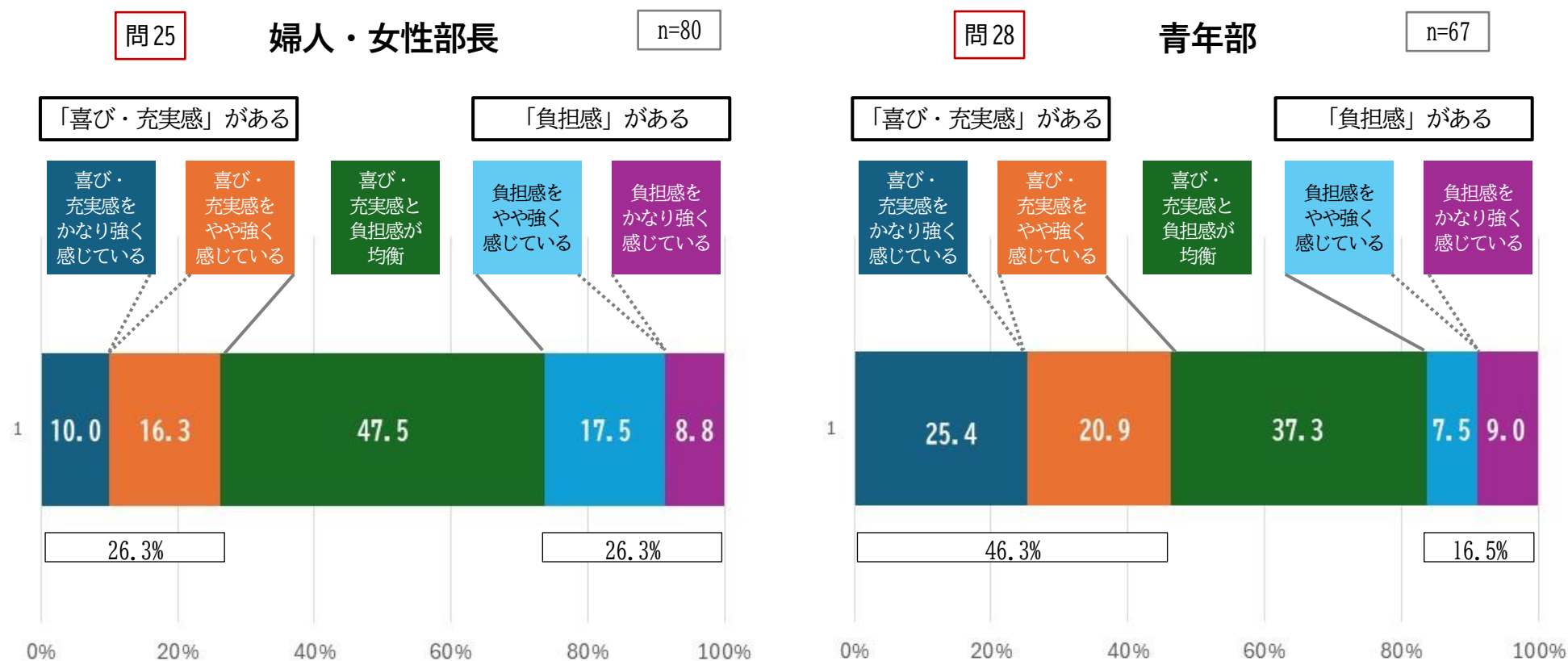
祭礼文化を継承していくにあたり、伝統やノウハウの引継ぎ、運営にあたっての人材不足が共通した課題であることが伺える。



13 祭礼参加の充実感・負担感について (〇は1つ)

婦人・女性部長と青年部の方に『祭礼への参加の「負担感」と「喜び・充実感」のバランスについてどのように感じているか』について尋ねたところ、婦人・女性部長では『喜び・充実感がある』と『負担感がある』がともに26.3%、青年部の方では『喜び・充実感がある』が46.3%、『負担感がある』は16.5%となっている。

青年部の方は充足感がある人が多く地域活動への意欲につながっているものの、婦人・女性部長においては祭礼の下支えとしての負担感があることが伺える。



14 町会加入促進について行政がすべき支援や協力について（〇は3つまで）

「町会加入促進について行政がすべき支援や協力」について尋ねたところ、町会長は『一定規模以上のマンション開発に対し事前に町会加入等について協議をすることのルール化』を、婦人・女性部長は『マンションに対して町会活動に対する理解を深めたり協力を努めたりすることのルール化』を、青年部の方は、前述の両方が最も多い。2番目に多いものとして、町会長と婦人・女性部長は『区の広報などによる町会参加の機運の醸成』を、青年部の方は『町会への加入や活動参加を促進するための財政的な支援』であった。

ルール化や区による情報発信が求められていることが伺える。



15 活動や運営に対して行政がすべき支援や協力について（〇は3つまで）

「町会活動や運営に対して行政がすべき支援や協力」について尋ねたところ、いずれも『各種事業実施に対する財政的な支援』が最も多く挙げられている。2番目に多いものとして、町会長と青年部の方は『区への事務手続きの簡略化』を、婦人・女性部長は『次世代の担い手の人材育成』を挙げている。また、3番目に多いものとして、町会長は『活動場所確保のための支援』、婦人・女性部長は『地域課題に関して区からの情報提供や相談などの充実』と『他町会の取組や好事例の紹介』を、青年部の方では『町会と他の団体や事業者との協力・協働のコーディネート』を挙げている。

財政的な支援のほか、情報発信（提供）やコーディネートの強化が求められていることが伺える。

